

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	蔵のまち観光交流センター	所在地	大字須坂352-2	
施設分類	委託料	所管課	商業観光課	
財産区分	行政財産	延床面積 (m²)	269.36	
居住誘導区域	該当	防災関連施設	該当	
設置根拠	須坂市蔵のまち観光交流センター条例	設置の目的・経緯	まゆぐらを活用し、観光客への観光情報の提供を行うとともに、地場産品の紹介や販売を通じ、市民と観光客の交流を深め、観光振興、賑わい創出に繋げる。	交通アクセス 須坂駅から徒歩5分
事業内容	観光案内及び交流	貸付の有無	有	多目的ホール
管理運営の状況	指定管理	委託内容		施設の維持管理
備考（その他特記事項）				

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上 2 地下 -	建築面積	163.36m²	延床面積	269.36m²
構造 (主たる建物)	W造	建築年度 (主たる建物)	2008	築年数 (主たる建物)	16
取得価格	158,425,000	耐震化の状況		新耐震基準施設	
帳簿原価	112,694,500	バリアフリー対応		トイレ	
減価償却累計額	61,209,330	省エネルギーの対応状況			
老朽化率	54%	施設の劣化状況		2023年度改修	

3 施設コスト

単位（千円）

		2022	2023	2024	3年間の平均値
費用	人件費				
	委託料				
	光熱水費				
	維持補修費	426	404	0	277
	減価償却費	4,546	4,593	4,733	4,624
	指定管理料	9,190	9,190	9,930	9,437
	その他	882	858	848	863
費用合計		15,044	15,045	15,511	15,200
収入	利用料等収入				
	国庫補助金等収入				
	その他				
	収入合計	0	0	0	0

収支	-15,044	-15,045	-15,511	-15,200
利用者一人当たりコスト	1.89	1.49	1.43	1.57

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	どなたでも	
開館時間	平日	観光交流処: 9 時から17時 多目的ホール: 9 時から22時
	休日	観光交流処: 9 時から17時 多目的ホール: 9 時から23時
休館日	12月29日から1月3日	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	7,967	10,113	10,878	9,653	13%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数	12,000	12,000	12,000		
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
多目的ホール					
年間利用者数	631	1,875	2,122	1,543	38%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数	2,000	2,000	2,000		
年間利用時間		395	474	435	109%
年間利用可能時間		4,680	4,667	4,674	100%
稼働率		8%	10%	9%	109%

公共施設評価結果シート

施設名施設名称称 蔵のまち観光交流センター

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	C	0	平均と比較し同規模 (100%以上150%未満)
	合計	0	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
(当該施設の経費÷当該施設の利用人数)	C	0	平均と比較し同規模 (100%以上150%未満)
(市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	E	-2	他施設と比較してかなり多い (200%以上)

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館利用率	D	-2	過去3か年平均が10%未満
	合計	1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った (-5%以上)
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	B	1	75%以上100%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	B	1	必要な改修がある程度行われている
	合計	3	

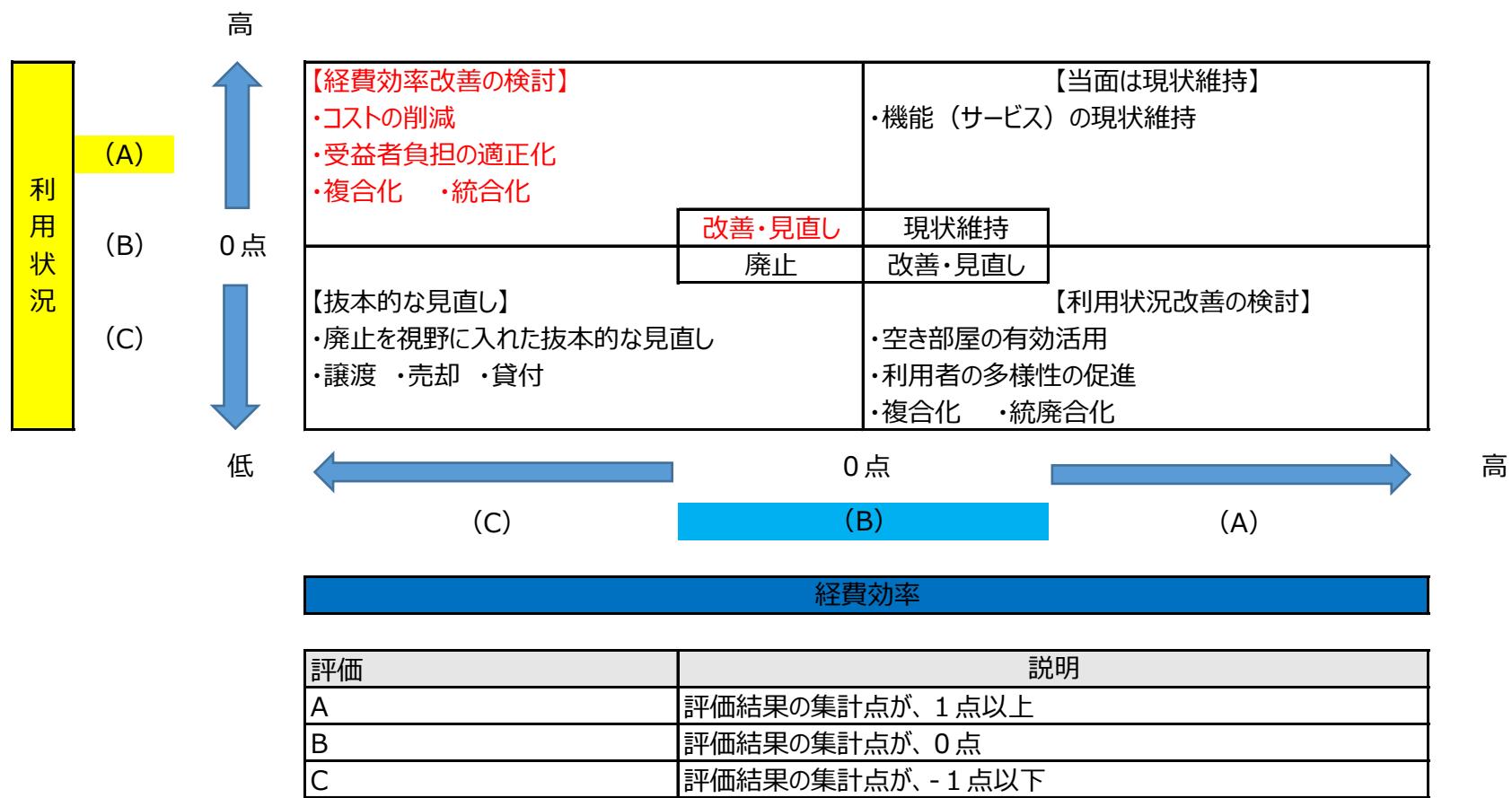
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	0
縦軸	必要性による評価	1
	合計点数	1

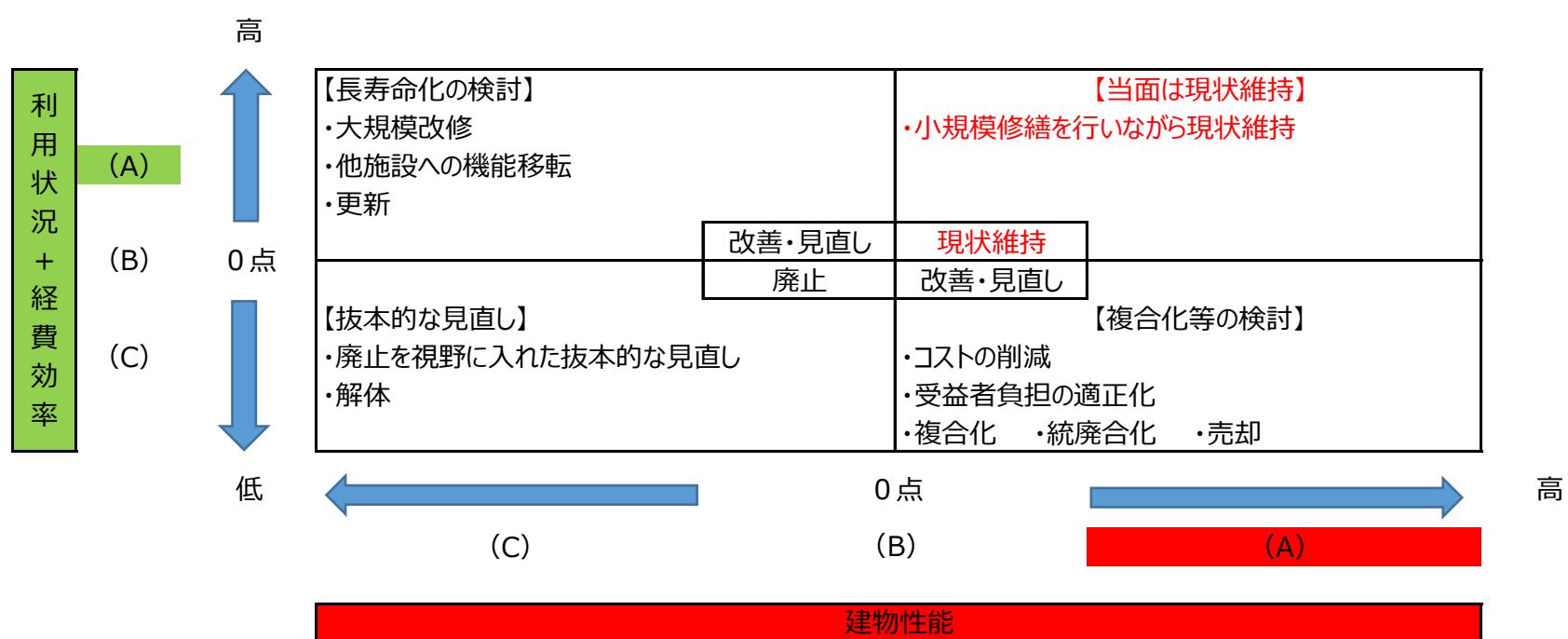
【経費効率改善の検討】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	3	横軸
縦軸	必要性と経費効率からの評価	1	縦軸
	合計	4	

【当面は現状維持】



評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下